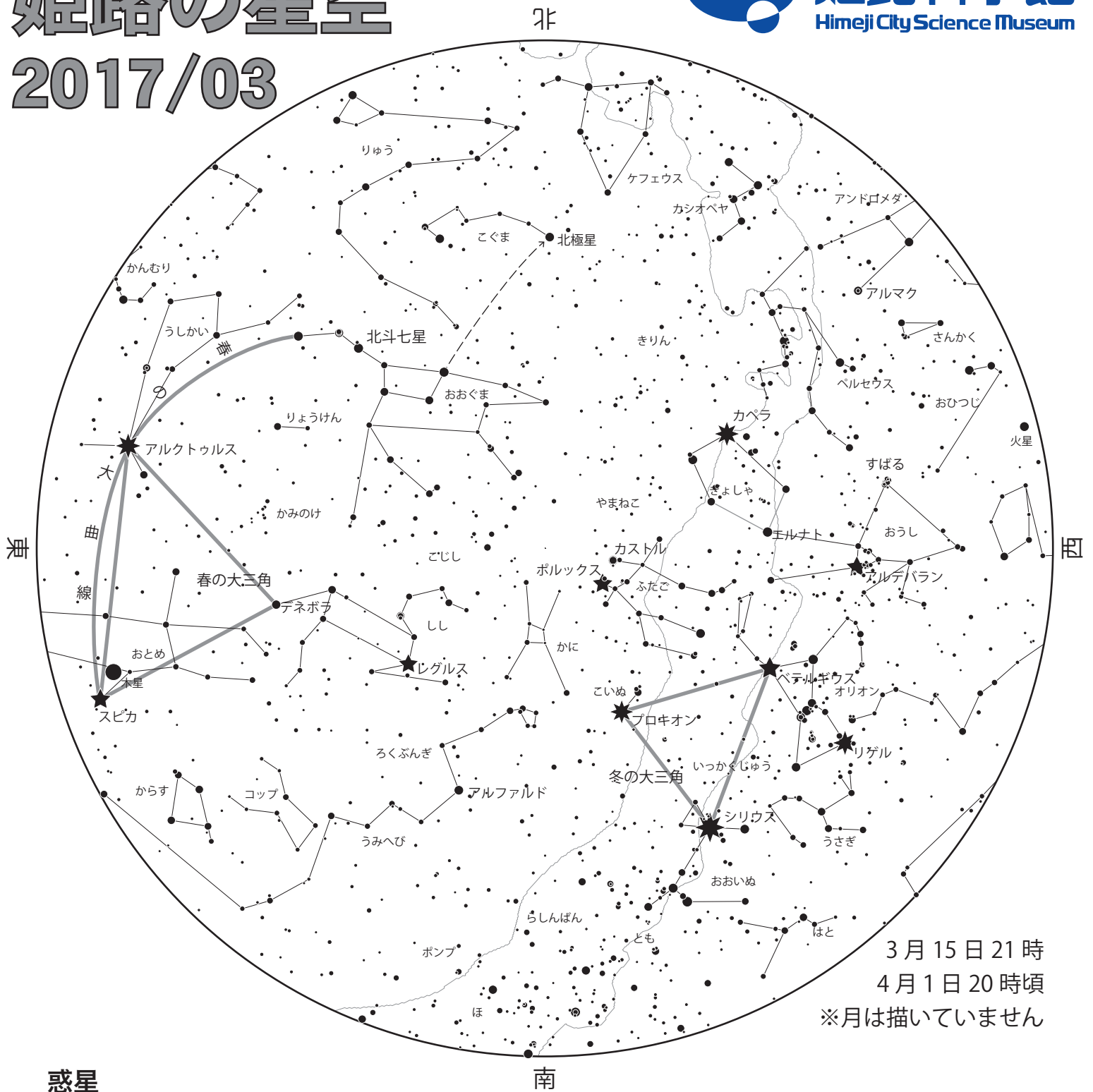


姫路の星空

2017/03



姫路科学館
Himeji City Science Museum



3月15日 21時
4月1日 20時頃
※月は描いていません

惑星

金星（宵の明星）は3月23日に内合となり、これ以降、明けの明星になります。西の空には火星が見えます。一方、東の空には木星が見えるようになりました。木星の見頃は4月以降です。

星座の星

空を東西に分けると、西の空に冬の星座、東の空に春の星座が見えています。

まず、冬の大きな三角形を探しましょう。三角形を作るのは、全天一明るい恒星おおいて座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、そして、オリオン座のベテルギウスです。ベテルギウスを中心に、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、ぎよしゃ座のカペラ、ふたご座のポルクス、プロキオン、シリウスを経てリゲルに戻ると、大きな六角形ができます。

東の空には春の星が見えています。しし座のレグルスは「小さな王様」と名づけられています。北東の空には北斗七星が見えています。そのまわりがおおぐま座です。北斗七星から春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカが見つかり、これらに、しし座のしっぽデネボラを結び、春の大三角形ができます。